

宇都宮商店街めぐり 第14回

池上町商店街

「ファサード整備事業で、 新しい顔ができました」

宇都宮市の中心地で公共交通のアクセスも良い、池上町商店街。ホテルや飲食店も軒を連ね、地域一体となつてがんばっています。

池上町は市内中心部に位置しており、国道119号線や大通りといった幹線道路に面しています。またバス停留所やタクシー乗り場などへ市民の足も集中しています。通勤や通学、買い物などで、毎日のように通っている人も多いのではないのでしょうか。

「商店街の設立は、40年くらい前だったですかねえ」会長の田中弘一さんは、懐かしそうに目を細めます。

「私もも自治会、商店街、池上通り商店街振興組合が一体となつて事業を行うことが多い。一体感のある、いい商店街だと思います」

池上町商店街が、それまでのアーケードを撤去し、同時に店の正面（ファサード）のリフレッシュに着手したのは、平成20年度のこと。初年度は大通り北側を、昨年度は南側の西半分を整備しました。今年度は残った南東部分のファサード整備を行う予定です。

「実際に始める前に、2年ほど勉強会を行い、そこで侃々諤々議論しました。そうやって方向性や具体的なやり方などを探っていきました」

2年間に20回以上開催したという勉強会をへて、県や市の補助も受けて、ファ

サード整備事業がスタート。その効果は一目瞭然、みごとに街が明るく、華やかになりました。

「大通り全体の景観のモデルケースにもなっています。集客効果も、ある程度上がってきているようです」

また、今年度は街のシンボルマークのフラッグが、街を飾って、街行く人の目を楽しませています。ファサード整備を終えて、生まれ変わったまちなみを目にする日が、楽しみです。



池上町商店街
会長 田中 弘一さん

【写真上】街中にひるがえる「イクガミ」の文字と「イクピシ」印
【写真下】リフレッシュして明るいまちなみになりました

